

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	21	◇本人を共に支え合う家族との関係 家族の諸事情(遠方在住・体調・時間的余裕関係性)等、一部の家族を除いて来訪回数が少なく、密な関係が薄れている	家族の事情に柔軟対応できる工夫をする	・毎月、利用者さまの状態を(暮らし方、身体的)”お便り”としての、送付は今後も続ける ・管理者は、定期的来訪が困難な家族に対し少なくとも1/月は必ず連絡を取り合うように努め密な関係を築いていく	1ヶ月
2	2	◇事業所と地域とのつきあい 地域資源を事業所として、活用(利用)させていた だいているが、逆に地域の方に事業所がお役に立 てるような事が(機会)が少ない	地域住民と事業所の関係を身近に感じていた だけにする。(関係性の維持)	・民生委員に地域の情報などを、教えて頂き施設 として、できる事を検討する。 又、グループホームとは、どういう施設なのか『認 知症とは、何?』等の説明会の機会を設けて今 後、でき得るなら実施していきたい。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。